

小野竹喬《波切村》左隻（後期のみ展示）



国画創作協会の画家たち

大正7年、官展に反旗を翻した画家たちの魂のさけび——

2024 3.16 |土| » 6.30 |日| 前期●3月16日(土)ー5月19日(日) 後期●5月25日(土)ー6月30日(日)
※会期中、作品の一部展示替えがあります

開館時間●9:30～17:00(入館は16:30まで)

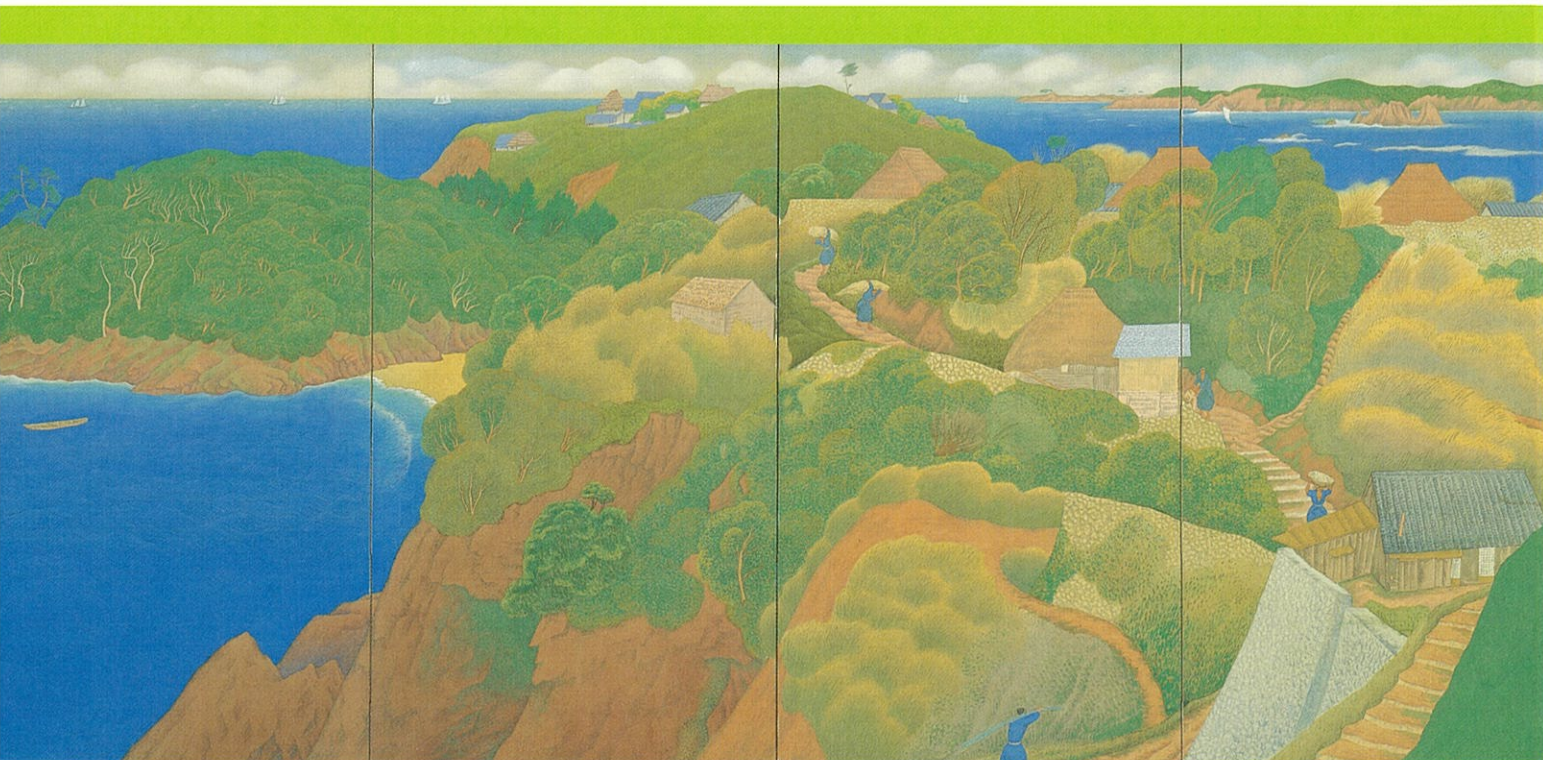
休館日●毎週月曜日(ただし4月29日(月・祝)、5月6日(月・休)は開館し、4月30日(火)、5月7日(火)は休館します)

入館料●一般500(400)円 ※()内は団体20名以上 高校生以下無料(学生証をご提示ください) 65歳以上は無料(年齢のわかるものをご提示ください)



笠岡市立竹喬美術館

〒714-0087 岡山県笠岡市六番町1-17
TEL0865-63-3967 FAX0865-63-4496



小野竹喬《波切村》右隻（後期のみ展示）



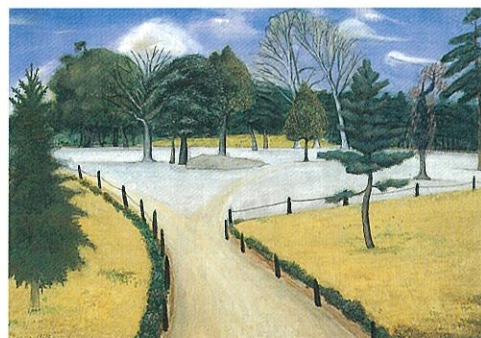
①



②



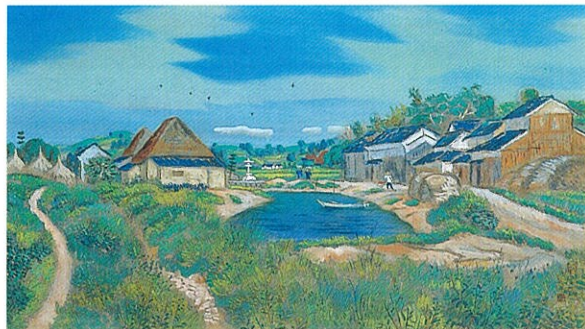
③



④



⑤



⑥



⑦



⑧

笠岡市立竹喬美術館では、昭和57(1982)年10月に開館して以降、小野竹喬を中心に同時代に活躍した画家たちの活動についても取り上げ、展覧会を開催してきました。これまでの40年以上にわたる美術館活動の中で、竹喬以外の画家の作品も所蔵するに至っています。なかでも、竹喬が創立メンバーとなった国画創作協会で活躍した画家たちの作品を数多く所蔵しています。

国画創作協会は、小野竹喬、土田麦僊、榊原紫峰、村上華岳、野長瀬晩花の若手日本画家5名により、大正7(1918)年に設立された美術団体です。設立の動機として、文部省美術展覧会への反発という意味合いが強く、「生ルハモノハ芸術ナリ。機構ニ由ツテ成ルニアラズ」と高らかにうたい上げる宣言文は、竹喬たちが新しい芸術を創造したいという熱い想いを伝えています。国画創作協会の活動は、期間が約10年、展覧会は7回の開催にとどまりましたが、画家たちは自由な発想で制作をすることができ、新たな日本画の創造という側面で大きな足跡を残しました。

このたびの展覧会では、国画創作協会で活躍した画家たちの足跡を辿るべく、竹喬美術館が近年新たに所蔵した作品を加えた、前後期あわせて約120点の作品から、国画創作協会の画家たちの作品とその魅力をご紹介します。

関連行事

■講座

「小野竹喬にとっての国画創作協会」

講師：柴田就平(当館学芸員)

日時：5月26日(日) 13:30～15:00

会場：笠岡市立竹喬美術館視聴覚室
要申込

■当館学芸員によるギャラリートーク

3月16日(土)、4月14日(日)、4月29日(月・祝)

5月19日(日)、6月1日(土)、6月23日(日)

13:30～14:30

詳細は美術館にお尋ねください(0865-63-3967)

- ①榊原紫峰《赤松》
- ②山口草平《竹の子売り》寄託品
- ③稲垣仲静《加茂川》
- ④澤田石民《御苑内》
- ⑤甲斐庄楠音《抒情小品》

- ⑥森谷南人子《海辺(曇)》
- ⑦村上華岳《牡丹》
- ⑧土田麦僊《大原女》
(国展創立会員貼交屏風のうち)

※②以外は笠岡市立竹喬美術館蔵

■交通

山陽自動車道 笠岡I.C.から 15分

JR山陽本線笠岡駅から

●タクシー5分 ●徒歩25分

●笠岡駅前4番のりば

神島(こうのしま)循環／

乗時(のりとき)行き／

美の浜(みのはま)行き

「市民会館・竹喬美術館前」

下車すぐ

所要5分・160円



笠岡市立竹喬美術館

〒714-0087 岡山県笠岡市六番町1-17

TEL0865-63-3967 FAX0865-63-4496

<https://www.city.kasaoka.okayama.jp/site/museum/>

ちきょう

検索



■笠岡いいとこめぐりバスのご案内

土・日・祝日限定で「笠岡いいとこめぐりバス」が運行されます。専用のワンデーチケット(大人500円・小人250円)を購入すると、笠岡いいとこめぐりバスの経路に限り、1日自由に乗降できます。笠岡駅を出発して「市民会館・竹喬美術館前」を経由し「カプトガニ博物館」、「道の駅・笠岡ベイファーム」をめぐることができます。詳しくは株式会社井笠バスカンパニーへお問い合わせください。

株式会社井笠バスカンパニー
Tel 0865-67-2213
<https://www.ikasabusco.jp>



道の駅・笠岡ベイファームより笠岡湾干拓地のポピー畑